



取扱説明書

サービス

サービス

Panda GateDefender Performa に含まれるサービス

Panda GateDefender には、下記のようなさまざまなサービスが含まれています。これらのサービスは、契約期間中ご利用いただけるので、お客様の不安は一掃されることでしょう。


24 時間、365 日の個別テクニカルサポート

Panda GateDefender に関するお客様からの質問に回答するために、弊社 Web サイトの Support セクションに製品専用のページを設けました。 <http://enterprises.pandasoftware.com/support>。

この専用ページに回答が見つからない場合は、24 時間 365 日、常時待機している弊社の専門技術スタッフが対応いたします。詳細については、製品に同梱の "Panda Worldwide List" または <http://enterprises.pandasoftware.com/about/contact/> に記載の連絡先まで電子メールまたは電話でお問い合わせください。

自動アップデート

アップデートは次々に出現する新しい脅威（ウイルスやスパム、不適切な Web コンテンツ）に対する保護を確実にするために必要です。Panda GateDefender は最大限の保護を保障するために、少なくとも 1 日 1 回自動的にアップデートされます。このアップデートによって、ソリューションへの継続的な改良や、新しい技術にアクセスすることもできます。

 注意: 新しい脅威に対する保護として提供されるアップデート内容は、ご契約中のモジュール（アンチウイルス、アンチスパム、Web フィルタリング）によって異なります。

24 時間対応のウイルス SOS

危険な未知のウイルスの発生はとどまるところを知らず、企業の IT リソースに脅威を与えています。この問題に対して Panda Software は、最も効果的なソリューションを提供しています。ユーザーは virus@pandasoftware.com に疑いのあるファイルを電子メールに添付して送信するだけで、24 時間以内に問題に対する回答を得ることができます。

インストールガイド

インストール

インストールの概要（目次）

1. インストール要件
2. インストールに必要なものの確認
3. ライセンス証明書の詳細の確認
4. Panda GateDefender Performa のラックへの設置
5. Panda GateDefender Performa 装置のネットワークへのインストール
6. インストール
7. 管理コンソールへのアクセス
8. ネットワーク IP およびコンソール IP について

1. インストール要件

ハードウェア上の要件

- 電源 : 100-240V AC、50-60Hz

管理コンソール

- Internet Explorer 5.0（またはそれ以上）、Mozilla、Mozilla Firefox または Netscape 6（またはそれ以上）
- SVGA モニタ - 1024 x 768 ピクセル（推奨）および 65536 色

2. インストールに必要なものの確認

Panda GateDefender Performa の最適なインストール場所を選択して、インストール処理を開始する前に、以下のものを用意してください。

- Panda GateDefender Performa
- イーサネットのネットワークケーブル 2 本
- コンソールポート接続用ケーブル 1 本（テクニカルサポートがメンテナンス作業に使用）
- 電源ケーブル（モデル 8050 と 8100 では 1 本、モデル 8200 では 2 本）
- ラックセットアップキット

3. ライセンス証明書の詳細の確認


Panda GateDefender Performa を購入すると、ライセンス証明書が電子メールで送られてきます。これは、クライアントの詳細、購入した装置の ID、および各装置に割り当てられている保護モジュールを示します。

Panda GateDefender Performa をインストールする前に、ライセンス証明書に表示されている詳細を必ず確認してください。それには、次の手順に従います。

1. 電子メールで送られてきたライセンス証明書を開き、この証明書に記載されている装置の ID が、各 Panda GateDefender Performa 装置の裏面にあるステッカーに記載されているコードと一致することを確認します。
2. 次に、各 Panda GateDefender Performa 装置に割り当てられている保護モジュールを確認し、インストールするときに備えて、この情報を覚えておきます。

4. Panda GateDefender Performa のラックへの設置

このセクションでは、Panda GateDefender Performa をレールのあるラック内に設置する方法について説明します (モデルによって異なります)。ラックに設置しない場合は、「Panda GateDefender Performa 装置のネットワークへのインストール」に進んでください。

 注意 : モデル 8050 はデスクトップ モデルですが、装置付属の取付具を使用してラックにマウントすることもできます。

事前の安全対策

Panda GateDefender Performa をラック内に設置する前に、以下の点を考慮する必要があります。

- 前面ドアが完全に開くように、ラックの前に十分なスペースを残してください (約 65cm)。
- 適切な換気と今後の増設のために、ラックの後ろに約 80cm のスペースを空けてください。
- モデル 8100 のサイズは 1U (45 mm) で、モデル 8200 は 2U (90 mm) です。ラックに設置する際にはこの点にご留意ください。

安全対策

ラックの安全対策

- ラックの底面が床に平らになるように設置して、ラックの全重量が底面にかかるようにします。
- 単一のラックにインストールする場合は、ラックにスタビライザーを取り付ける必要があります。
- 複数のラックにインストールする場合は、ラックを互いに連結する必要があります。

装置の安全対策

- 電子機器のインストール状況を確認し、一般的な安全対策を講じます。
- 部品をネジ止める前に、すべてのラック コンポーネントの適切な場所を決定します。
- 最も重いコンポーネントから順に、ラックの下から上へとインストールしていきます。
- 無停電電源装置 (UPS) を使用します。こうすると、停電からサーバーを保護し、電源異常の際にもシステムを稼働し続けることができます。
- 使用していないときにはラックの前面ドア、サーバー パネル、およびコンポーネントを閉じて、適切に冷却します。
- 複数の Panda GateDefender Performa をロード バランシング に使用する場合は、各装置の間に少なくとも 3cm のスペースを空けて、適切な換気を確保します。適切に換気を行わないと、オーバーヒートしてコンポーネントが溶けてしまうおそれがあります。Panda GateDefender Performa では、こういった状況で発生した障害は保証いたしません。

装置のラックへの設置

開始する前に、以下の点を考慮してください。

- さまざまなラック ユニットが販売されているので、組み立てプロセスはラック ユニットによって異なります。
- このガイドでは、Panda Antivirus GateDefender Performa に付属の支持器具を使用して、Panda Defender Performa をラックにインストールする方法について説明します。お使いのラック ユニットのインストール ガイドも参照してください。

一般的な手順は以下のとおりです。

1. 支持器具を Panda GateDefender Performa に取り付けます。
2. 支持器具をラック ケースにネジ止めます。

要素の識別


ラックに設置する Panda GateDefender Performa には、2 つの部品が付属しています。各レールには、次の 2 つのコンポーネントがあります。

- ラックケースの背面に取り付ける小型の金属パネル (A)。
- 金属パネルにネジ止めして装置を固定する、支持器具 (B)。

装置への支持器具の取り付け

Panda GateDefender Performa シャーシに支持器具を取り付けるには、次の手順に従います。

- 支持器具をシャーシの隣に配置します。支持器具のネジ用の切込みを Panda GateDefender Performa の側面の穴に揃えます。

 注意: 支持器具の位置は左右で異なります。一方は左、もう一方は右に配置するように設計されています。

- 支持器具を装置の側面にネジで留めます。Panda Antivirus GateDefender Performa を Telco ラックにインストールする場合にも、この作業を行う必要があります。

ラックへの支持器具の取り付け

レールをラックに取り付けるには、以下の点に注意してください。

- ラック内の Panda GateDefender Performa の場所を決定します。
- 金属パネルの 1 つを支持器具に取り付けます。取り付ける際に、支持器具の側面の突起部分を金属パネルの切り込みに差し込み、両方の部品のネジ穴が揃うようにします (図 1)。次に、両方の部品をラック ケースの背面にネジ止めします。
- 残りの 2 つの部品にも同様の作業を行います。

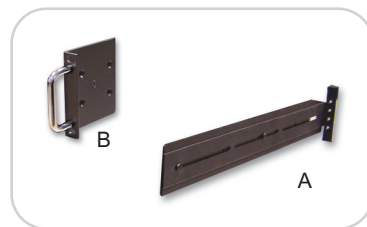


図 1

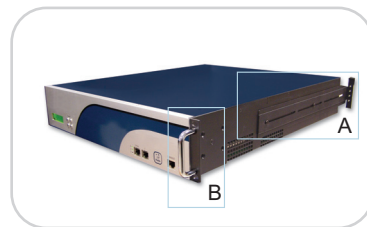



図 2



図 3

5. Panda GateDefender Performa 装置のネットワークへのインストール

 注意：ここでは、Panda GateDefender Performa の標準のインストールについて説明します。目的の装置のインストールと異なる場合は、Panda Software Web サイトのダウンロード エリアにアクセスして、他のインストール例を探してください。

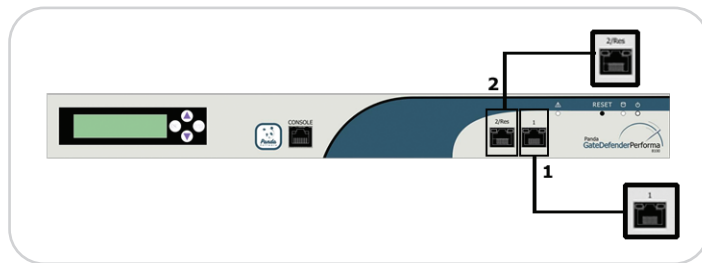
まず、ネットワーク上で Panda GateDefender Performa 装置を設置するのに適切な場所を選択します。最適な場所は、外部の脅威に対して最大のアンチウイルス保護を提供できる場所です。装置を設置する標準の場所は、ファイアウォールと LAN（ローカル エリア ネットワーク）の間です。

装置を経由する、Web コンソールで設定されているプロトコルを使用するすべてのデータで、ウイルスおよびその他のインターネット上の脅威が自動的にスキャンされます。これにより、内部ネットワークは、外部ネットワークおよびインターネットからのウイルスに対して保護されます。

6. インストール


ファイアウォールまたはルータとスイッチの間の Panda GateDefender Performa のインストール

1. ファイアウォールまたはルータをスイッチに接続しているケーブルを取り外します。
2. Panda GateDefender Performa（または同等のもの）のケーブルの一方の端を、ファイアウォールまたはルータの空いているネットワークソケットに接続し、ケーブルのもう一方の端を Panda GateDefender Performa 装置のネットワークコネクタの 1 つに接続します。



 注意：Panda GateDefender Performa 8050 のネットワーク コネクタです。

3. 次に、別の Ethernet ケーブルを Panda GateDefender Performa の別のネットワーク コネクタに接続します。このケーブルのもう一方の端はスイッチに接続します。

 注意：Panda GateDefender Performa 8050 では、ネットワークコネクタは背面にあります。

4. 2本のネットワークケーブルを接続したら、Panda GateDefender Performa の電源ケーブル（モデル 8200 では2本）をコンセントに差し込みます。
5. Panda GateDefender Performa のスイッチをオンにします。
6. 装置が起動するまで約2分待ちます。
7. 最後に Panda GateDefender Performa を Web コンソールで設定します。

7. 管理コンソールへのアクセス

初めて Panda GateDefender Performa を設定するときは、装置と同じネットワークセグメント内にある、インターネットに接続しているコンピュータを使用して、次の手順に従います。

1. コンピュータの現在の IP を確認します。それには、`ipconfig` コマンドを使用します。
2. TCP/IP プロトコルのプロパティを変更します（[コントロールパネル]-[ネットワークとダイヤルアップ接続]、[ローカルエリア接続]、[インターネットプロトコル (TCP/IP)]、[プロパティ] を右クリックします）。以下の値を追加します。
 - IP アドレス : 172.16.1.2
 - ネットマスク : 255.255.255.0



注意 : これらの詳細を、追加の IP アドレスとして含めることもできます。

3. プロキシサーバーを経由してインターネットにアクセスする場合は、172.16.1 で始まる IP アドレスへのアクセスにプロキシを使用しないようにブラウザを設定する必要があります。それには、次の手順に従います。
 - Internet Explorer を起動し、[ツール]-[インターネットオプション]-[接続タブ]-[LAN の設定]-[詳細設定] をクリックします。[例外] に IP アドレス 172.16.1 を入力します。
 - Netscape 7.1 で、[編集]-[設定] をクリックし、[詳細]-[プロキシ] をダブルクリックします。[プロキシなし] ボックスに、IP アドレス 172.16.1 を入力します。
4. ブラウザのアドレス バーに以下のアドレスを入力します。https://172.16.1.1.
5. 続行するかどうかを確認するポップアップメッセージが（Web コンソールのセキュリティ証明書と共に）表示されます。[はい] をクリックします。
6. GateDefender Performa Web 管理コンソールにアクセスする画面で言語を選択します。

7. 以下の詳細を入力し、[開始] をクリックします。

- ユーザー名 : defaultuser
- パスワード : defaultpass

8. デフォルトのユーザー名およびパスワードは変更することをお勧めします。それには、次の手順に従います。


- コンソールのメインメニューで [システム設定] をクリックします。
- [コンソールにアクセス] セクションにアクセスします。
- 使用するユーザー名およびパスワードを入力します。このセクションでは、コンソールへのアクセスに使用するデフォルトの IP アドレス (172.16.1.1) を変更することもできます。



9. 次に、アップデートの実行や警告の送信を行うために必要なインターネットアクセスを提供するように、装置を設定する必要があります。それには、次の手順に従います。

- コンソールのメインメニューで [システム設定] をクリックします。次に [ネットワーク環境] をクリックします。
- [ネットワークデータ] セクションで、Panda GateDefender Performa がインターネットへの接続に使用するネットワーク IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを入力します。
- プロキシサーバーを経由してユニットをインターネットに接続する場合は、[HTTP プロキシ経由のインターネットアクセス] に対応する詳細を入力する必要があります。これらの詳細を入力し終わったら、[保存] をクリックします。



 注意: アプライアンスの内部で既に使用されているため、装置が所属するネットワークの IP アドレスおよび装置のコンソール用 IP アドレスにサブネット 1.1.1.0/24 レンジの IP アドレスを使用しないでください。


8. ネットワーク IP およびコンソール IP について

ネットワーク IP アドレスと コンソール IP アドレスの違いは、理解しにくい概念の 1 つです。この 2 つのアドレスの特徴を以下に示します。

コンソール IP : Panda GateDefender Performa の Web 管理コンソールにアクセスする際に使用する IP アドレスです。Panda GateDefender Performa のすべてのユニットが、同じコンソール IP アドレス (172.16.1.1) をデフォルトで使用しています。このアドレスは変更できます。ただし、このアドレスを忘れると、装置の裏側のボタンを使って元の設定を復元しなければ、Web 管理 コンソールにアクセスできなくなりますのでご注意ください。

ネットワーク IP : Panda GateDefender Performa が自身を有効にしてインターネットからアップデートするための IP アドレスです。必要に応じて、メール サーバーに接続してアラートを送信したりスパム メッセージのルートを変更したりすることが可能です。


この IP アドレス (デフォルトでは 192.168.1.1) は、装置が接続を確立する際に使用します。Web 管理コンソールにアクセスするためだけに使用するコンソール IP アドレスとは異なります。

 注意: 上記 2 つの IP アドレスの詳細については、コンソールのヘルプ ファイルの設定セクションを参照してください。

9. Panda GateDefender Performa の有効化

Panda GateDefender Performa 装置を有効にするには、電子メールで送られてきたユーザー名およびパスワードをコンソールで入力する必要があります。それには、次の手順に従います。

- メイン コンソール メニューで [ライセンス管理] をクリックします。
- [登録 / アクティベーションの詳細] セクションに表示されたリンクをクリックします。
- 表示された画面で、電子メールで送られてきたユーザー名およびパスワードを入力し、[保存] をクリックします。

 注意: ユーザー名やパスワードをお忘れになられた場合には、以下の URL にアクセスしてください。
<http://www.pandasoftware.com/support/keys>

 Panda Software は自然環境の保護に取り組んでいます。自然環境への影響を最小限にとどめるため、製品のユーザー ガイドをデジタル データ化しています。ユーザーガイドは弊社 Web サイトのダウンロードページ (<http://www.pandasoftware.com/download/Documents/>) で入手してください。



ハードウェア保証

保証について

Panda GateDefender 保証書 - ハードウェア限定

本保証書は、Panda GateDefender におけるハードウェア部分にのみ適用されます。Panda GateDefender のソフトウェア部分に関する保証については、別途エンドユーザー使用許諾契約書に記載いたしております。

本保証は、世界中で有効です。また、保証内容は本保証書で定めるとりとしします。ただし、保証サービスの内容と対応時間についてはサービスの提供先となる国によって異なります。

本保証書の譲渡は、Panda Software が認証した書面による許可がない限り認められません。このため、本保証は、製品をご購入いただいたご本人にのみ適用されます。

Panda Software は、ご購入いただいた Panda GateDefender が製造上と作業上のいずれにおいても欠陥がなく、下記に定める保障期間についての製品ドキュメントの記述どおりに正常に機能することを保証します。ただし、上記製品ドキュメントに記載の指示に従って本製品を使用する場合に限りします。

Panda GateDefender の保証期間は、本製品のご購入時から開始されます。本契約はソフトウェア ライセンスの購入や更新に関わらず、ソフトウェア ライセンスが有効な限り、効力を有します。保証期間はご購入時より最長 2 年間とします。なお、いかなる場合においても、本保証は該当する欧州連合法に従うものとします。

本製品の請求書に記載された日付は本保証の開始日をお知らせいただく際に必要となりますので、請求書は大切に保管しておいてください。

Panda GateDefender の保証期間中は、Panda Software は欠陥のあった製品を、良品または同等の機能のある製品と交換いたします。交換の対象となる製品は Panda Software に帰属します。このため、製品に欠陥があった場合はお早めに Panda Software までご返送ください。

欠陥のあった製品をお送りいただく際には、Panda Software からの出荷時と同一のパッケージで梱包の上お送りください。弊社より交換品をお送りする際に必要です。同一のパッケージをご用意いただけない場合は、輸送中に製品が破損されないよう、同様の梱包材料で保護してお送りください。

製品には Panda Software が定めたドキュメントを添えてください。また、Panda Software からお知らせした返却番号を包装の表面の見やすい場所に記載してください。

なお、製品の交換によって保証期間が延長されることはありません。

以下については、Panda Software は本製品を保証せず、責任も負いません。

1. 不正なインストールや使用、変更、修理、および許可のない第三者またはお客様ご自身による改造による故障および損傷。通常の使用から生じる摩滅による故障および損傷。
2. お客様以外の人物または天変地異などの外部要因による故障および損傷。
3. 特定の用途や目的に対する本製品の適合性。
4. お客様によるインストラクションやコマンドを Panda Software が正常に実行すること。
5. 保証シールが剥がされていたり、損傷している場合。シリアル番号や ID 番号が削除されていたり、損傷などによって有効とみなされない場合。
6. 不正な電源や電気設備の使用、不定期な、または不安定な電源で使用方法、UPS システムを使用した場合。本保証は電力供給に起因する問題については適用されません。
7. Panda Software による本製品の配送や交換と関係のない輸送中に生じたシステムの欠陥および故障。
8. 本製品ご購入時の請求書発行における不備。
9. 前述の条件どおりに返却番号が包装に明記されていない場合。

上記については、本保証は適用されません。上記に該当する場合は、製品の修理や交換における費用はお客様のご負担となります。これに伴う郵送などの諸費用についても、すべてお客様の負担となります。

Panda Software は明示、黙示を問わず、本限定保証に明示的に定められた内容以外のいかなる保証もいたしません。これには商品性、特定目的への適合性についての黙示の保証が含まれます。州（または司法管轄地）によっては本保証の制限が認められないことがあります。この場合は、州（または司法管轄地）の当該法規を参照してください。

PANDA SOFTWARE は、本製品の使用または使用不能が原因であると申し立てられたあらゆる損害または損失に関して、いかなる個人または法人に対しても損害賠償責任を負わないものとします。これらの損害または損失には、直接、間接を問わず、事業の中断を含み、これに限ることなく、本ソフトウェアを使用した結果としての金銭的損失または見込み収益の損失を含むものとします。

本保証期間の終了後、お客様が有効なソフトウェア ライセンスを持っている場合や、ソフトウェア ライセンスの有効期限終了に伴ってライセンスを更新した場合には、ハードウェア要素を交換することを Panda Software は推奨します。Panda Software からの製品出荷時と同一のハードウェア要素を使用しないと、ソフトウェアが正常に機能しない恐れがあります。